

表彰

令和3年度秋田県身体障害者自立更生等表彰

▶秋田県知事表彰（自立更生者）／柿崎政行（30区）
▶秋田県身体障害者福祉協会会長表彰（自立更生功労者）／佐藤伸明（小砂川1区）

学校より、生徒が作成した鳥海山・飛島ジオパークすごろくが市内小学校1年生全員に贈呈されました。遊びながらジオパークの魅力や環境について学びを深められる内容となっています。



寄附金

2月22日、AOS株式会社より、本市の地域振興に役立ててもらいたいと1,500万円が寄贈されました。この寄附金は、みらい創造基金に積み立てられ、さまざまな

用途に活用されます。



マスク

2月24日、株式会社正義の味方より、マスク300枚が寄贈されました。このマスクは、市内3中学校3年生と仁賀保高等学校3年生に配布され大切に使われます。



文房具セット

3月11日、にかほ地区事業主交通安全推進協会より、鉛筆・定規・安全横断リフレクター（反射材）が入った文房具セットが寄贈されました。4月から市内小学校に通う新入学児童全員に配布され、新しい学びの場で交通安全を呼びかけていきます。



コロナ禍でも、笑顔で進む新たな一歩 市内中学校卒業証書授与式

3月12日、市内3中学校で卒業証書授与式が挙行されました。コロナ禍により、一部規模を縮小しての開催となりましたが、来賓や保護者、在校生が見守るなか、名前が呼ばれた生徒たちは「はい」と元気よく返事をして卒業証書を受け取りました。式後、校舎前では先生そして在校生らとの別れを惜しみ涙を流しながらも、最後は笑顔で次のステージに進む生徒たちの姿が見られました。ご卒業おめでとうございます。

市内3中学校卒業生数

仁賀保中学校	95人
金浦中学校	32人
象潟中学校	77人



電子アプリ「カタボケ」で写真撮影した写真をもとに、掲載しきれなかった写真を追記してご紹介します。



▲校長先生から一人ずつ声を掛けられ、笑顔で卒業証書を受け取る生徒たち

100歳長寿祝い状・祝い金贈呈式



2月20日、飯尾キエ子さん（立居地）が100歳のお誕生日を迎え、市から祝い状と祝い金が贈呈されました。これからも末永くお元気に過ごしてください。

復旧・復興活動を強化

災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定

3月16日、株式会社アクティオと「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」の締結式が行われました。本協定は、地震などの災害が発生した際、市の要請により同社が所有する建設重機等のレンタル機材を優先的に市へ提供することを取り決めたものです。今後、被災時の迅速な対応につながり、復旧・復興活動の強化が図られていきます。



▲小沼代表取締役社長(左)と市川市長

魅力ある雇用環境の創出

にかほ市雇用対策協定締結式

3月14日、にかほ市雇用対策協定締結式が行われました。本協定により、秋田労働局と本市はさまざまな雇用対策に連携しながら一体的に取り組み、移住・定住の促進や魅力ある雇用環境を創出していきます。雇用対策における国と地方公共団体が連携する本協定は、全国179市町村の226自治体が締結していて、秋田県内では9件目になります。



▲川口秋田労働局長(左)と市川市長

超神ネイガーと学ぶお米作り

ニカッ!! とにかほしフェスティバル

2月19日、東京のスタジオを拠点に「ニカッと!! にかほしフェスティバル」が開催されました。子ども・子育てのまちシティプロモーションの一環で、「にかほのほかに」など市内の拠点を中継で結び本市の魅力を紹介。また、超神ネイガーとジオンはお米作りを紹介し、オンラインで参加した子どもたちと一緒ににおにぎりを作って食育をPRしました。



▲子どもたちも自宅でおにぎり作り！上手にできました

宝くじ社会貢献広報事業 大竹自治会館エアコン等設置

このたび、大竹自治会館（ふくじゅ館）にエアコンやストーブ、移動型音響設備が設置されました。これは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの受託事業収入を財源に社会貢献広報事業として実施しているコミュニティ助成事業により整備されたものです。



▲設置されたエアコン